

〔長久手町業務評価票：平成20年度業務〕

担当課・係名	なんでも町政サロン室広報聴係【問合せ・質問等の先（内線番号） 563 】【
第4次総合計画の 該当項目	4節4項 ①情報化の推進

業務の名称	ケーブルテレビ番組制作委託事業
(1) 根拠法令・条例	なし
(2) 当該業務量 (延人員規模含む)	総業務量の <u>7.0</u> % (係の総業務量を100%とする) 職員延人数： <u>68</u> 人・日 (臨時雇用者延人数： <u> </u> 人・日)
(3) 事業費 (人件費分を除く)	<u>23,539</u> 千円 (平成20年度決算 (細目・細々目の実績から抽出・算定する))
(4) 補助率 (補助金がある 場合のみ記載)	<u> </u> % (平成20年度実績)
(5) 業務期間	開始した年度 <u>10</u> 年度 終了 (予定) 年度 <u>継続</u>

(6) 業務の概要 (簡潔に箇条書きで記載)

①業務目的 (達成目標)	町の事業や施策をCATVを通じて提供することで、町政への理解と行事への参加を促す。						
②業務が対象とする住民 (地域、層)	全町民						
③業務の具体的な実施内容・方法 (平成20年度実績)	平成17年度までは15分番組であった「Weeklyながくて」を30分番組に延長することで、番組内容を充実させ放送している。(12月の最終週と1月の第1週を除く50週で放送) 番組の制作過程 ①職員が行事を調査し、取材先を選定 ②ひまわりと週1回放送内容の打合せ ③放送内容決定後職員が事業主催者に通知し、取材申込を行う ④ひまわりが番組制作し放映 ⑤職員が放送内容をチェックし、修正が必要な時は直ちに訂正を連絡 ⑥職員が放送内容を再確認						
④業務の実施結果 (平成20年度実績)	町内での出来事や町の重要施策を広報紙ではできない動画という特性を利用し、住民にわかりやすく親しまれる番組作りに取り組んだ。						
	【業務結果の説明指標】						
		結果の説明指標	17年度	18年度	19年度	20年度 実績	将来目標
	1	番組時間数 (1回あたり)	15分	30分	30分	30分	30分
	2						
	3						
4							
5							

(7) 遂行上の問題点、取組課題 (簡条書きで簡潔に記載)

視聴者から番組内容に関する意見をもらい、番組制作や改善につなげていくことが必要。

(8) 改善実績 (過去4年間の実績)	
平成18年度分から15分番組を30分番組とし、より行政を理解してもらうための番組作りをするとともに、情報量を増やすことによって番組の内容充実につながった。	

(9) 業務の評価 (自己診断)		
評価基準	評価の視点	三段階評価 (2~0点)
①目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	1点
②コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	1点
③業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	1点
④住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	1点
⑤総合計画との整合	総合計画(基本計画)の方針に対応しているか。	1点
⑥他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	1点
2点: 成果あり、適切だった 1点: ある程度適切だった 0点: 適切でなかった、遅れている		平均 1.0点

(10) 総合評価 (課の見解)	
①今後の方向 (該当番号に○印)	1. 前年度と同じく、そのまま継続する。 2. 見直して継続(業務の拡大) 3. 見直して継続(業務の縮小) ④ 見直して継続(方法の改善) 5. 見直して継続(他業務と統合) 6. 廃止する。 7. 休止する。
②評価理由	ケーブルテレビの特性を活かし、単に行政情報を流すだけでなく、住民に親しみのある番組を制作することが接続世帯増につながると思われる。したがって今後も住民ニーズを見極めながら、住民が欲しい情報が何かを考えつつ、番組制作を行う。
(11) 今後の目標・改善方針 (具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること)	
①改善目標	視聴者から番組内容に関する意見をもらい、番組内容をチェックし番組制作や改善につなげていくことが必要。
②改善時期	平成21年度から。
③改善方法	広報モニターに番組に対する意見を聞き、番組制作のひまわりに伝える。